



～ 季節の花便り～

越後丘陵公園 冬の風物詩！
ばらの冬支度 “冬囲い”



竹材に守られた株が並び、まるで林のよう！
(平成二十二年十二月十四日撮影)

謹啓 初冬の候 皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

越後丘陵公園の「香りのばら園」で、毎年恒例となった冬の風物詩「ばらの冬支度“冬囲い”」作業が進んでいますのでご案内いたします。

冬囲いは、雪の重みや寒さから植物を守るために、竹材や木材等で植物を囲う、雪の降る地域では欠かせない作業です。本公園では、昨年植栽した株や寒さに弱いばらには、さらに1株1株に丁寧に寒冷紗かんれいしゃを巻き、雪だけでなく冷たい風も通しにくくし、ばらの身を守る工夫をしています。

本公園に冬の訪れを告げる香りのばら園の冬囲いは、12月18日(土)頃に終了する予定となっています。香りのばら園に、とんがり帽子のような冬囲いが一面に立ち並ぶ不思議な様をぜひご覧下さい。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹言

【 お問合せ先 】

〒940-2082 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又 1950-1
越後公園管理センター 業務課企画係 担当: 田中・山野・佐藤
電話 0258-47-8001 FAX 0258-47-8002
企画係携帯 090-7847-5001 公園 HP <http://echigo-park.jp>

ばらの冬囲い



写真 ~ : ばらをわら縄でまとめた後、竹材を3本挿し、頂上部ほか数箇所をわら縄で固定する。

「冬囲い」は、雪の重みで枝が折れたり、寒風によって株が弱るのを防ぐための雪国では欠かせない作業です。公園内の「香りのばら園」では、今年、全体の9割近い約1,900株のばら1株1株に竹材を組んで、冬囲いを行います。

ばらの冬囲いは、香りのばら園が開園した平成15年から行っており、本公園の冬の風物詩となっています。当初は、冬の冷たい風からばらを守るため、さらに全ての株に寒冷紗かんれいしゃを巻いていましたが、年々暖冬傾向になり、積雪量が少なくなってきたことから、今年は、昨年植栽した株や寒さに弱い株を中心に、全体の1/7(約300株)程度に寒冷紗を巻いています。

ばらの冬囲いは、毎年12月初旬～中旬頃に行っています。今年は11月末から作業を開始し、1日10人ぐらいの体制で、雪に備えた準備を日々進めています。

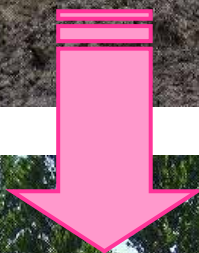
冬囲いを終えたばら園は、まるでとんがり帽子がたくさん立ち並ぶように見え、花が咲く季節とは全く違った独特の景観を創り出します。



写真 ~ : さらに竹材の上から寒冷紗を巻き、完成。

冬囲いが終わると、ばらは降り積もる雪や冬の寒さにじっと耐え、春に新しい芽を出し始めます。例年では、雪が溶ける3月中旬頃に囲いを外す作業を行います。毎年5月末～6月中旬に開催する「香りのばらまつり」できれいに咲いた花をお楽しみいただくため、芽を傷つけないよう慎重に外しますが、それでも枝先の芽を傷つける恐れがあるため、冬囲い前に行う剪定はあえて高めの位置で枝を切り、冬囲いを外した後ももう1度剪定(切り戻し剪定)を行って新しい芽を出させることで、万が一作業中に芽を傷めても花付きが悪くなることのないような管理を行っています。また、高めの位置で切ることで、枝がしなりやすくなり、冬囲いの準備で枝をまとめる際に折ってしまう危険も少なくなります。

このような手間隙かかる地道な作業を行ってこそ、春や秋に色彩豊かで華やかなばらの花がお楽しみいただけるのです。



写真上：平成 22 年 12 月 14 日撮影

写真下：平成 22 年 6 月 12 日撮影